

第2回 エリア・データ連携基盤 技術セミナー ～パーソナルデータ連携モジュール（自治体様向け）編～

2023年1月27日



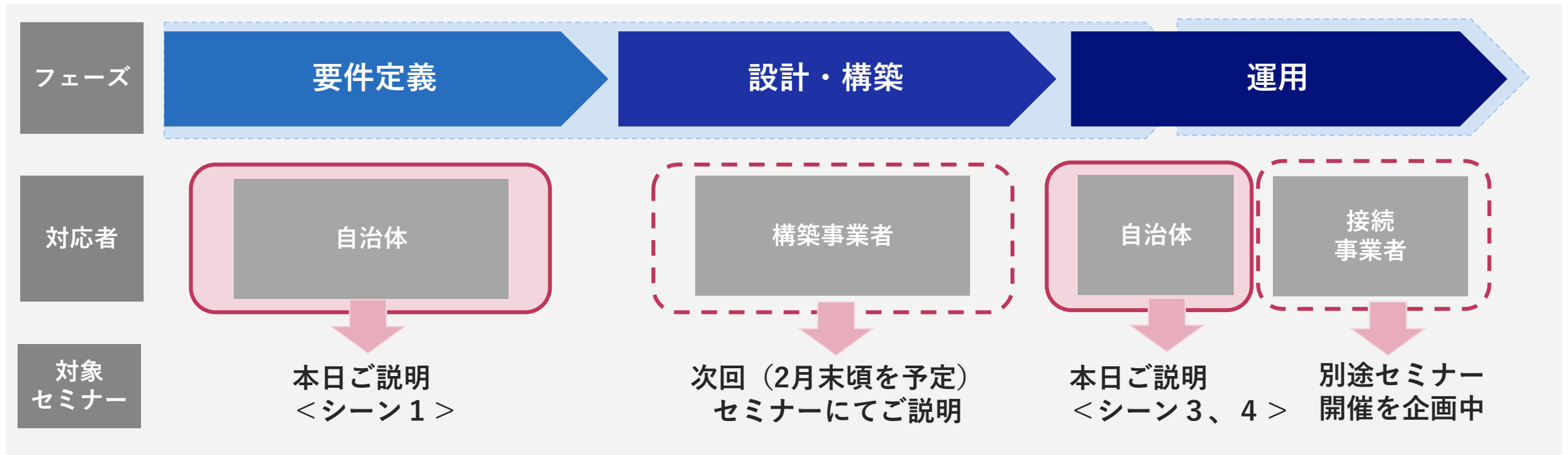
● 本日の流れ

- | | |
|--------------|-------------------|
| 13:00～ 13:10 | 本日のご説明について |
| 13:10～ 14:10 | 資料説明・公開ドキュメントについて |
| 14:10～ 14:25 | 質疑応答 |
| 14:25～ 14:30 | 今後の活動のご案内について |

● ご連絡事項

- 本説明会は、今後の普及管理のために録画させていただきます。あらかじめご了承ください承頂けますよう、よろしくお願いいたします。
- ご質問事項は、Zoomの『QA』にて随時お送りください。説明終了後の質疑応答お時間にて、まとめて回答いたします。
(時間の都合により当日回答しきれない場合は、後日メールにて参加者様向けに回答とさせていただきます。)

- 本日のセミナーは、自治体様がパーソナルデータ連携基盤を用いた住民サービスの提供に向け、基盤構築の準備・運用に必要な作業についてご説明いたします。
- 構築事業者様向けの詳細説明セミナーは、別途2月末頃の開催を予定しております。日程確定次第、ご案内差し上げます。
- 構築事業者様向けセミナーには、12/27開催のパーソナルデータ連携モジュールの勉強会説明資料を事前にご参照の上、ご参加頂きますようお願いいたします。



ご説明の流れ

- ◆ パーソナルデータ連携モジュールを使い、自治体がパーソナルデータ連携基盤を整備・運用する流れを下記シーンごとにご説明します。

シーン1. 要件定義

自治体がパーソナルデータ連携基盤の構築を検討する。



自治体

シーン2. 設計・構築

構築事業者がパーソナルデータ連携基盤の構築を行う。
(基盤構築後、各サービス事業者が基盤に接続する。)



構築事業者



各サービス
事業者

シーン3. PF利用開始

住民が住民ポータルでのA市民IDの利用を開始する。



自治体



住民

シーン4. PF利用終了

住民が住民ポータルでのA市民IDの利用を終了する。



自治体



住民

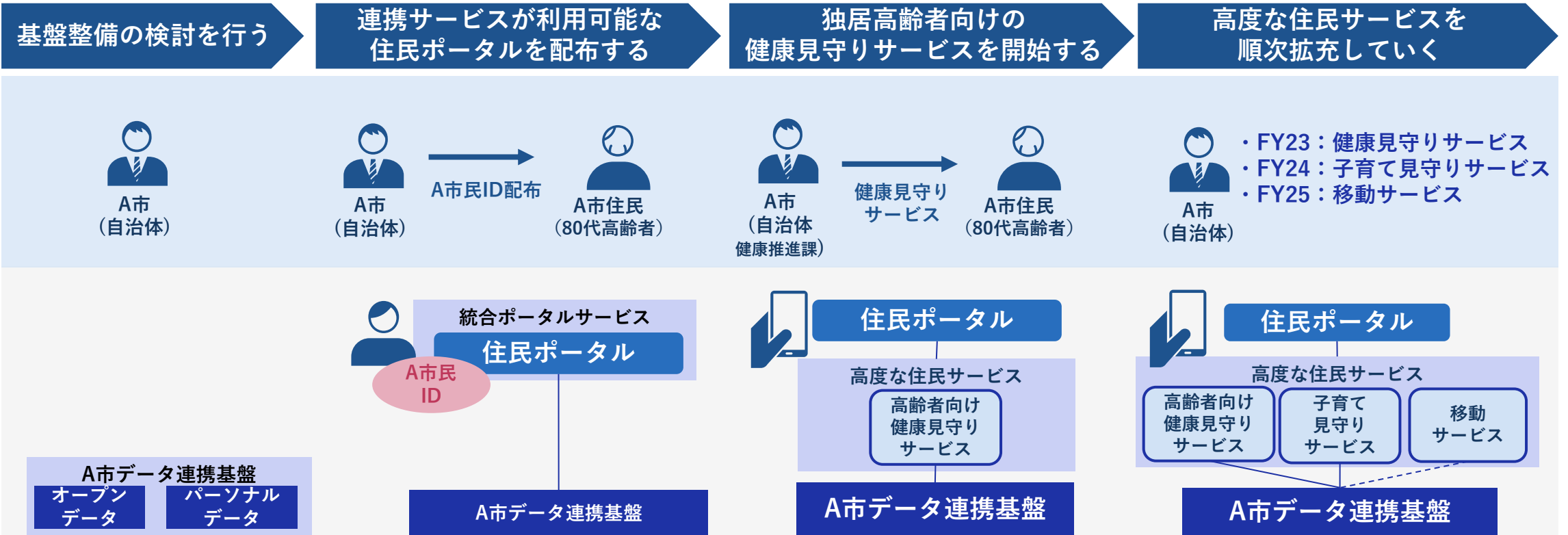
シーン 1. 要件定義

シーン1. 要件定義

想定ユースケース例：A市における独居高齢者の健康見守りサービス

◆ 自治体（A市）の検討状況

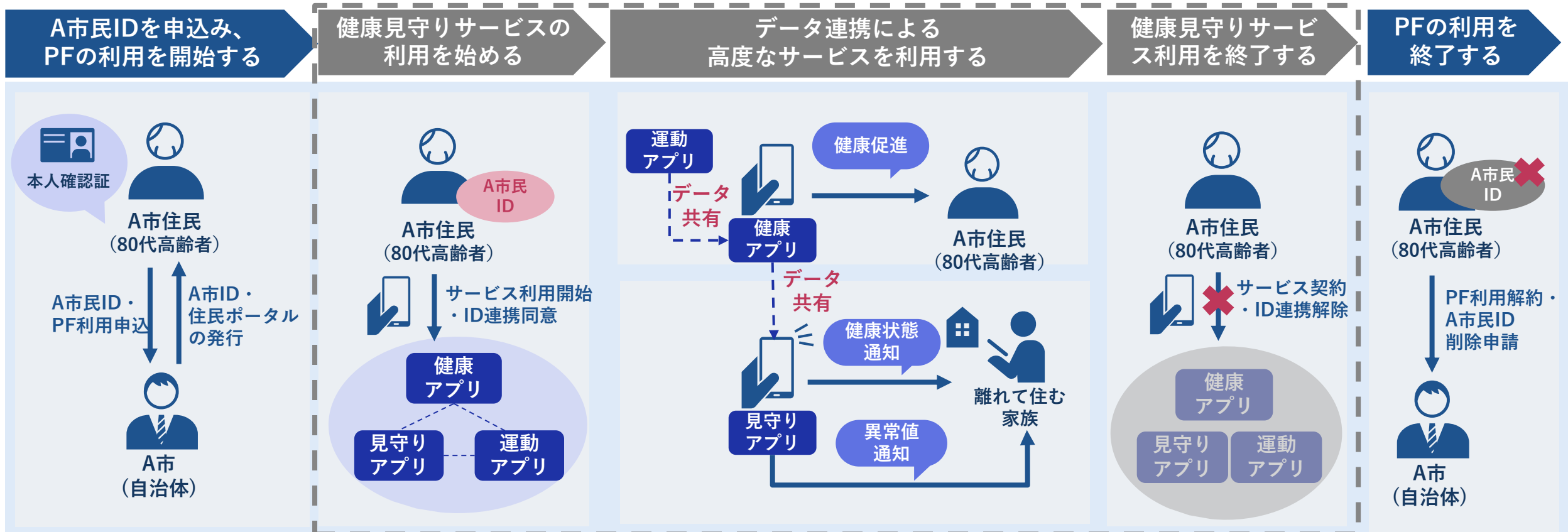
- 高度な住民サービスの実現を目的として、パーソナルデータ連携基盤を導入する。
- パーソナルデータ連携基盤を利用する住民には、A市民IDを配布する。
- 1つ目の高度な住民サービスとして、独居高齢者向けの健康見守りサービスを開始する。



想定ユースケース例：A市における独居高齢者の健康見守りサービス

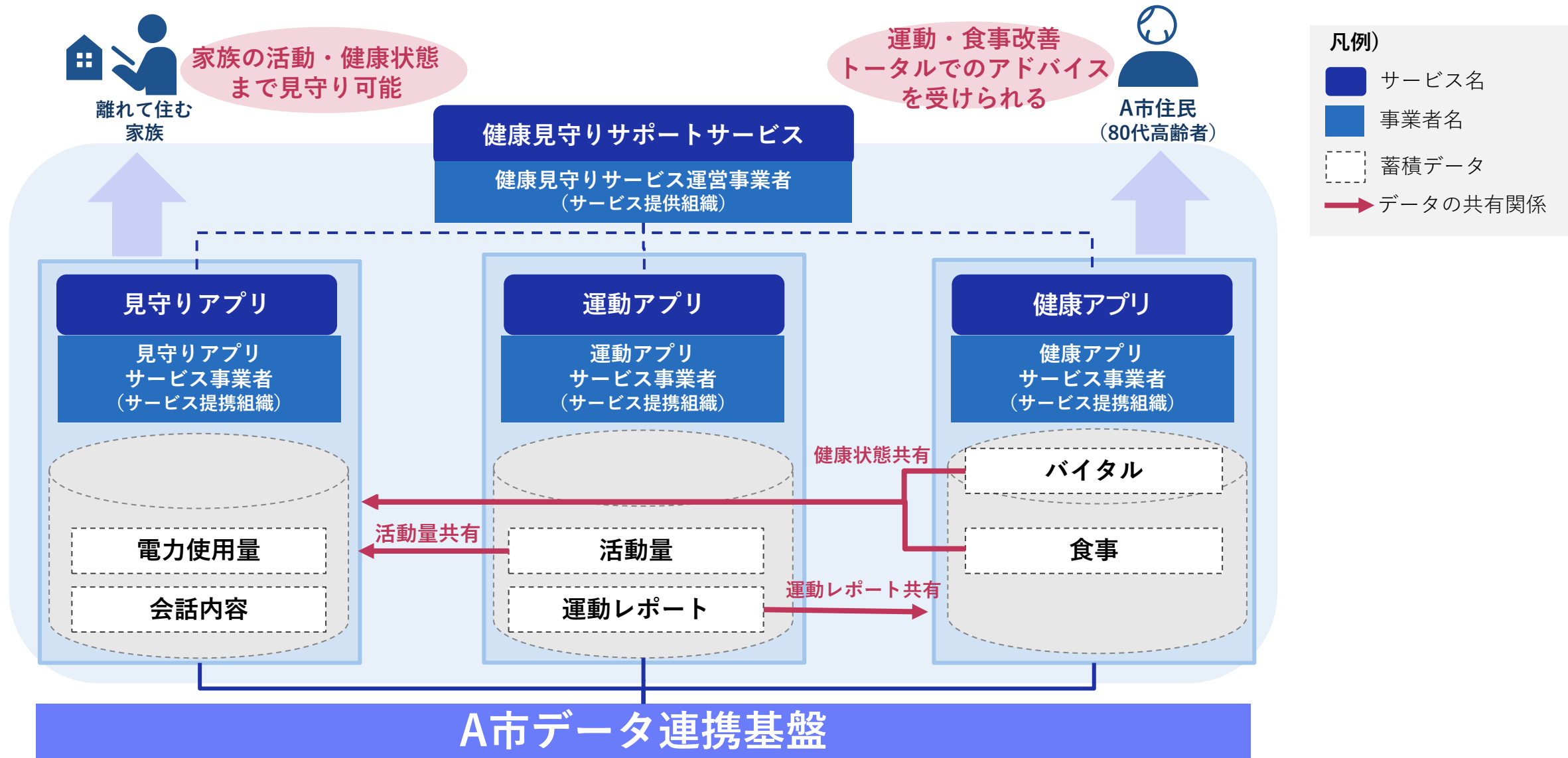
◆ サービス利用者（独居高齢者80代・A市民ID未取得）の利用シーン

- A市のスマートシティサービスとして提供される健康見守りサービスに加入する。
- 運動・健康・見守りアプリ（既存アプリ）で蓄積されたデータを相互に連携することで、より高度化されたサービス（運動量にあわせた健康促進や離れて住む家族への見守り状況共有）の提供が可能となる。



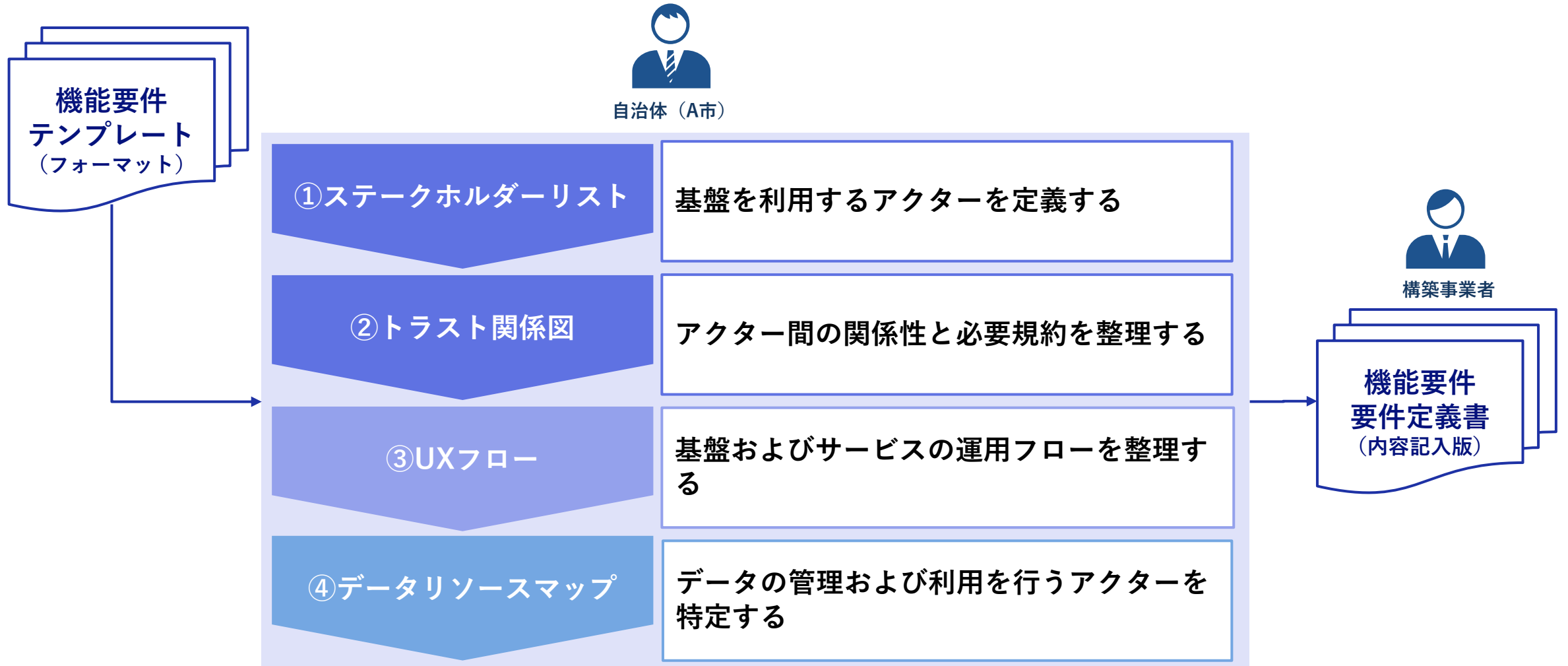
シーン1. 要件定義

想定ユースケース例：A市 健康見守りサービスのデータ連携イメージ図



シーン1. 要件定義 要件定義フェーズの検討ステップ

◆ システム構築前に機能要件テンプレートを利用し、機能要件を定義する。



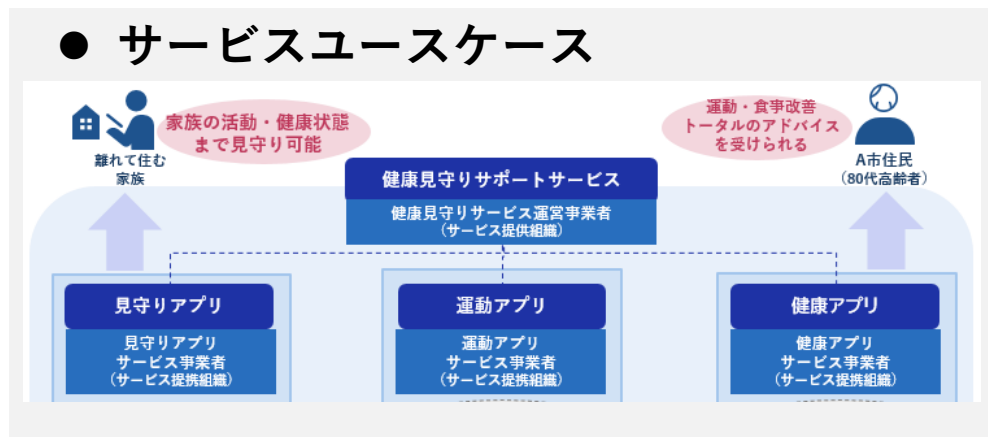
シーン1. 要件定義

機能要件テンプレート：①ステークホルダーリスト

◆ 記載目的

- 作成したサービスユースケースに沿って、サービス内容・アセット・事業者を紐づけ整理する

● サービスユースケース



● 「A-b-1_ステークホルダーリスト」記載例

項	ステークホルダー名称	概要	運営事業者	アクター区分	PxRアクター区分	アセット	システム提供事業者
1	A市データ連携基盤サービス運営事業者	個人同意のもと各種サービス提供事業者と連携をし、データ流通PFを運営する事業者。	A市	プラットフォーム (PF) 運営組織	流通制御サービスプロバイダ	パーソナルデータ連携モジュール	構築事業者
2	健康見守りサービス運営事業者	住民に対し、健康見守りサービスを提供する事業者。健康見守りサービスにおけるサービス単位毎の定義や運営を行う。	A市	サービス提供組織	領域運営サービスプロバイダ		A市
3	運動アプリサービス事業者	住民に対し、運動アプリサービスを通じて運動促進サービスを提供する事業者。	運動アプリサービス事業者	サービス提供組織 (アプリ)	アプリケーションプロバイダー	運動アプリ	運動アプリ提供事業者
4	健康アプリサービス事業者	住民に対し、健康アプリサービスを通じて健康管理サービスを提供する事業者。	健康アプリサービス事業者	サービス提供組織 (アプリ)	アプリケーションプロバイダー	健康アプリ	健康アプリ提供事業者
5	見守りアプリサービス事業者	住民に対し、見守りアプリサービスを通じて見守りサービスを提供する事業者。	見守りアプリサービス事業者	サービス提供組織 (アプリ)	アプリケーションプロバイダー	見守りアプリ	見守りアプリ提供事業者

アセット

サービス内容

例)

- 健康アプリ
- 見守りアプリ
- 運動アプリ

運営事業者

例)

- A市健康アプリ事業者
- 見守りアプリ事業者
- 運動アプリ事業者

シーン1. 要件定義

機能要件テンプレート：②トラスト関係図

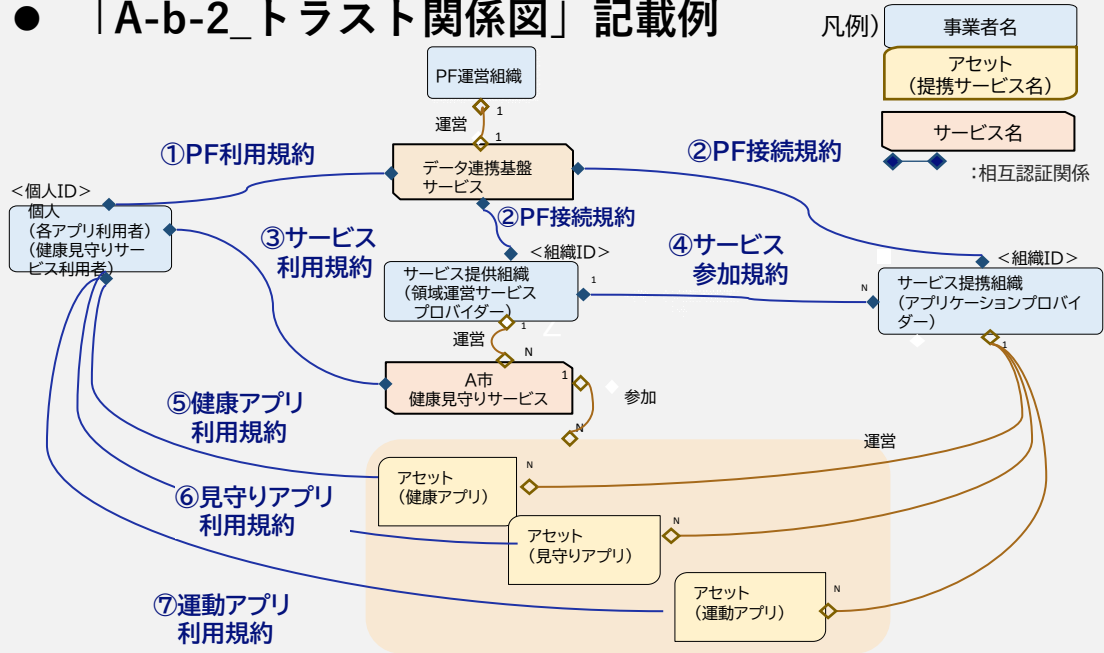
◆ 記載目的

■ 各ステークホルダーがサービス/アセット利用に必要な規約を整理し、洗い出しを行う

● 「A-b-1_ステークホルダーリスト」

項	ステークホルダー名称	概要	運営事業者	アクター区分	PIAアクター区分	アセット	システム提供事業者
1	データ連携基盤サービス運営事業者	個人同意のもと各種サービス提供事業者と連携をし、データ連携PFを運営する事業者。	A市	プラットフォーム(PF)運営組織	流通制御サービスプロバイダ	パーソナルデータ連携モジュール	構築事業者
2	健康見守りサービス運営事業者	住民に対し、健康見守りサービスを提供する事業者。健康見守りサービスにおけるサービス単位毎の定義や運営を行う。	A市	サービス提供組織	領域運営サービスプロバイダ	-	A市
3	運動アプリサービス事業者	住民に対し、運動アプリサービスを通じて運動促進サービスを提供する事業者。	運動アプリサービス事業者	サービス連携組織(アプリ)	アプリケーションプロバイダ	運動アプリ	運動アプリ提供事業者

● 「A-b-2_トラスト関係図」 記載例



● 規約一覧

No.	規約名	締結者	目的	作成区分
①	プラットフォーム(PF)利用規約	PF提供事業者(A市) - 個人	PF/住民ポータル利用	新規作成
②	プラットフォーム(PF)接続規約	PF提供事業者(A市) - サービス提供/提携組織	PF利用	
③	健康見守りサービス利用規約	サービス提供組織 - 個人	健康見守りサービス利用	
④	健康見守りサービス参加規約	PF提供事業者 - サービス提供組織	サービスへのアセット登録	
⑤	健康アプリ利用規約	サービス連携組織(健康アプリ) - 個人	アプリ利用	規約更新
⑥	見守りアプリ利用規約	サービス連携組織(見守りアプリ) - 個人		※サービスセットとして必要な追加機能に関する説明
⑦	運動アプリ利用規約	サービス連携組織(運動アプリ) - 個人		

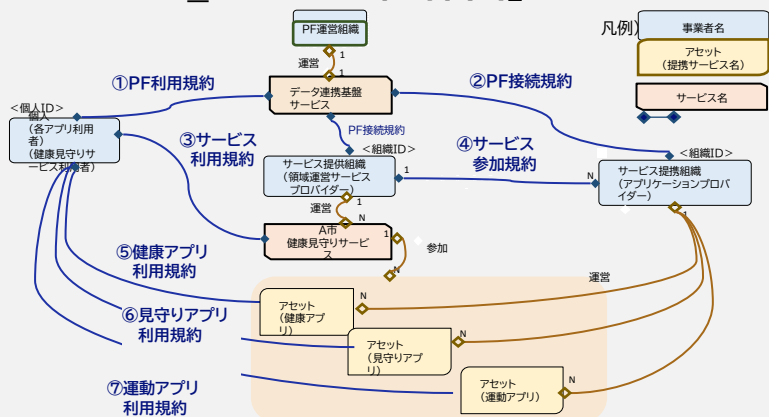
シーン1. 要件定義

機能要件テンプレート：③UXフロー

◆ 記載目的

- トラスト関係図で整理した内容に合わせ、Whoに具体的なアクター名、What（運用内容）やWhy（情報取得目的）、Input/Outputに規約・ID・サービス名を記載し、UXを明確化する

● 「A-b-2_トラスト関係図」



● 「機能要件テンプレート_別紙」フォーマット

機能ID	機能名	機能概要	入力	出力	備考
001	健康見守りサービス利用	健康見守りサービスを利用する	個人ID、健康見守りサービスID	健康見守りサービス利用履歴	
002	健康見守りサービス解約	健康見守りサービスを解約する	個人ID、健康見守りサービスID	健康見守りサービス解約履歴	
003	健康見守りサービス参加	健康見守りサービスに参加する	個人ID、健康見守りサービスID	健康見守りサービス参加履歴	
004	健康見守りサービス退会	健康見守りサービスから退会する	個人ID、健康見守りサービスID	健康見守りサービス退会履歴	
005	健康見守りサービス利用規約表示	健康見守りサービス利用規約を表示する	個人ID、健康見守りサービスID	健康見守りサービス利用規約表示履歴	
006	健康見守りサービス参加規約表示	健康見守りサービス参加規約を表示する	個人ID、健康見守りサービスID	健康見守りサービス参加規約表示履歴	
007	健康見守りサービス退会規約表示	健康見守りサービス退会規約を表示する	個人ID、健康見守りサービスID	健康見守りサービス退会規約表示履歴	
008	健康見守りサービス利用規約承認	健康見守りサービス利用規約を承認する	個人ID、健康見守りサービスID	健康見守りサービス利用規約承認履歴	
009	健康見守りサービス参加規約承認	健康見守りサービス参加規約を承認する	個人ID、健康見守りサービスID	健康見守りサービス参加規約承認履歴	
010	健康見守りサービス退会規約承認	健康見守りサービス退会規約を承認する	個人ID、健康見守りサービスID	健康見守りサービス退会規約承認履歴	

● 「機能要件テンプレート_別紙UX一覧」記載例

A市民IDを申込み、PFの利用を開始する

1章：個人がプラットフォームの利用を開始する

健康見守りサービスの利用を始める

2章：個人がサービス (Region) の利用を開始する

データ連携による高度なサービスを利用する

3.1章：サービス提携組織がパーソナルデータを利用する

健康見守りサービスを解約する

4章：個人がサービス (Region) の利用を終了する

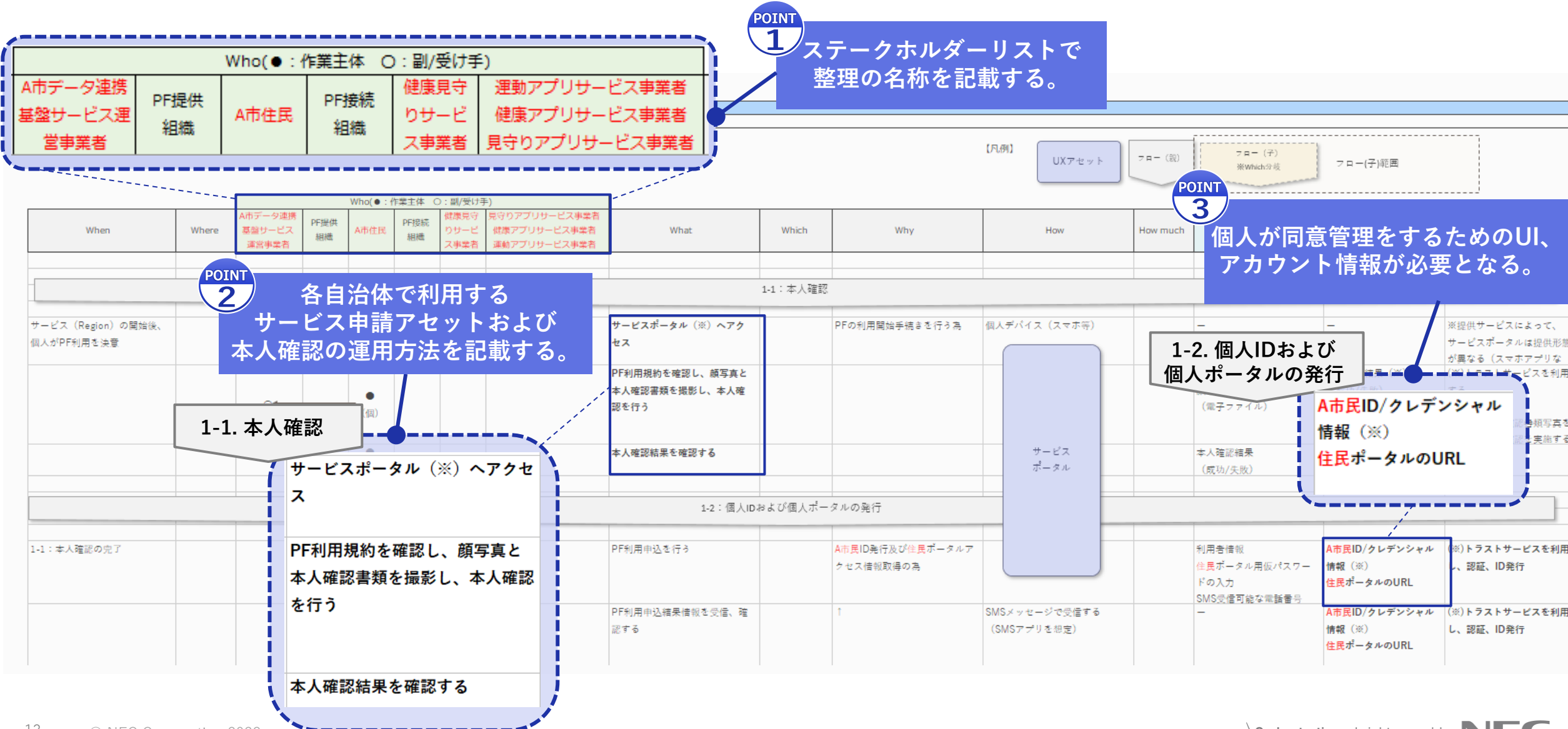
PFの利用を終了する

7章：個人がプラットフォームの利用を終了する

シーン1. 要件定義

③UXフロー 1章：個人がプラットフォームの利用を開始する

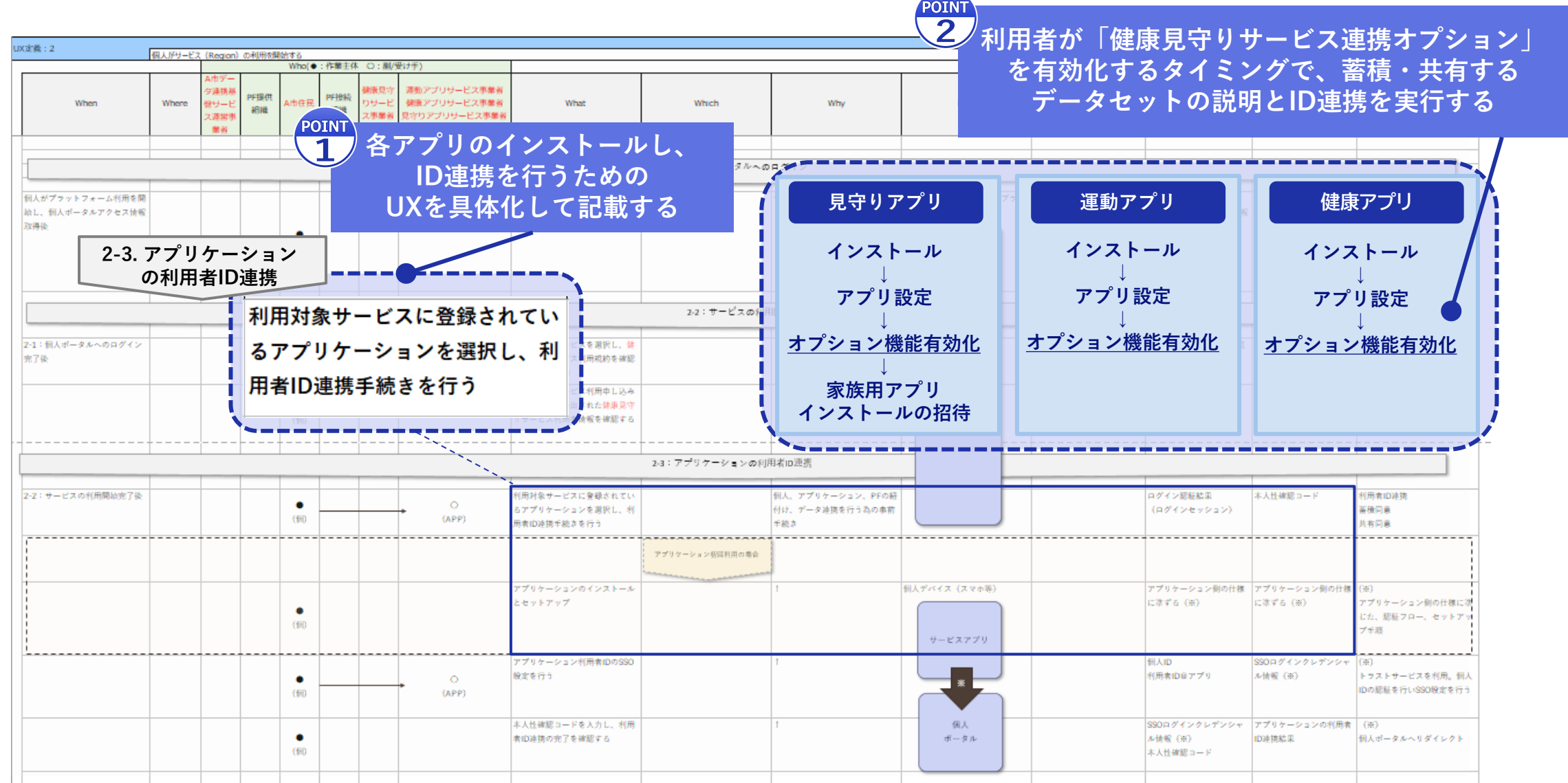
- 住民が「住民ポータル」にてPF利用規約同意の上、利用申込を行い「A市民ID」を取得する



シーン1. 要件定義

③UXフロー 2章：個人がサービス（Region）の利用を開始する

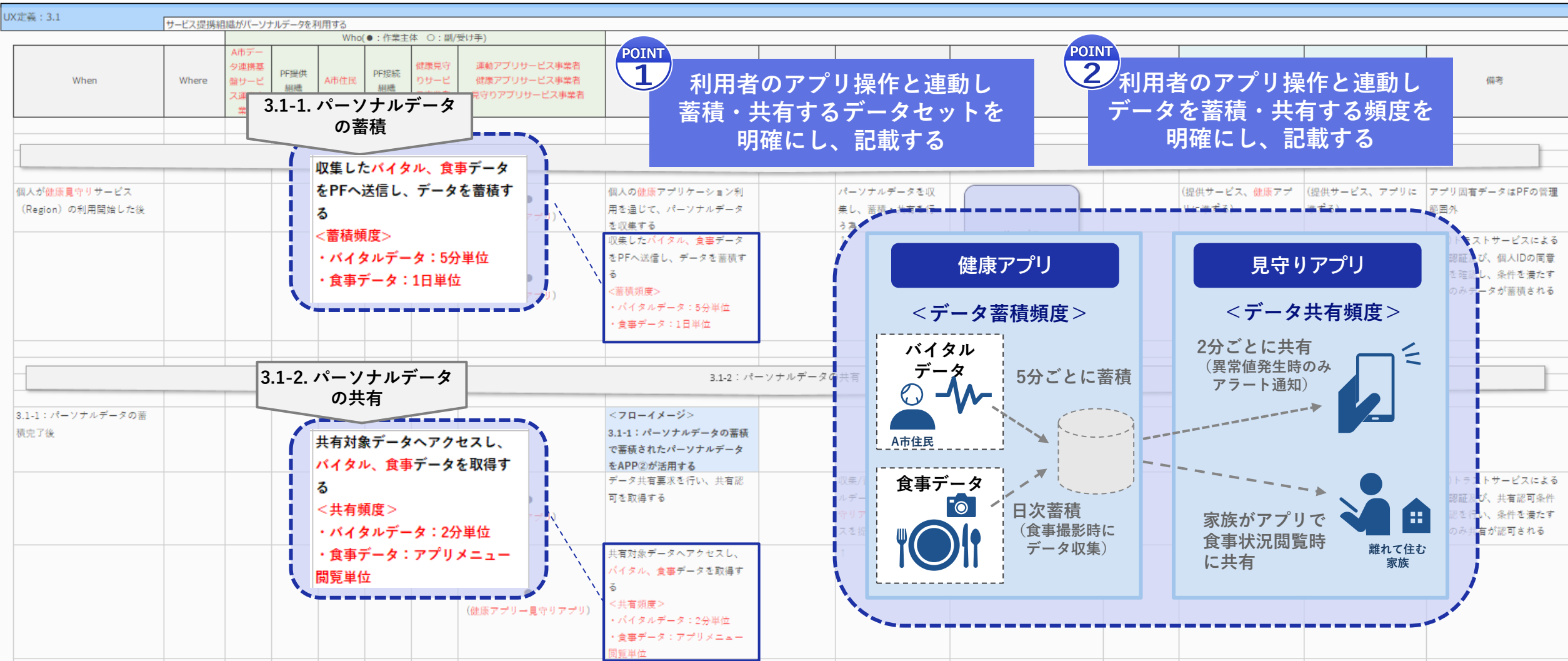
- 住民が健康見守りサービス利用規約同意の上、健康見守りサービス利用申込を行う。



シーン1. 要件定義

③UXフロー 3.1章：サービス提携組織がパーソナルデータを利用する

- 住民の同意にもとづき、運動アプリサービス事業者が他アプリへ共有するデータを蓄積し、見守りアプリに共有する。



シーン1. 要件定義

③UXフロー 7章：個人がプラットフォームの利用を終了する

- 住民が「A市民ID」の利用解約手続きを行う

When	Where	Who (●: 作業主体 ○: 観/受け手)						What	Which	Why	How	How much	Input	Output	備考
		A市データ連携基盤サービス運営事業者	PF提供組織	A市住民	PF接続組織	健康見守りサービス事業者	運動アプリサービス事業者								
7-1: プラットフォームの利用終了															
個人がプラットフォームの利用を終了を決定したとき			● (個)				2-1: 住民ポータルへのログイン		プラットフォーム利用終了を要求するため	個人デバイス (スマホ等のブラウザ)					
		○ ←	● (個)				PF利用終了を要求する			住民ポータル		PF利用終了要求	利用終了指示		
		○ ←		●			4-2: サービスの利用終了処理		プラットフォームの利用終了を処理するため	定期バッチ					
		○ ←			● (APP)		4-3: アプリケーションの利用終了								
		●					4-4: SSO設定解除								
7-2: 個人ID削除と通知															
全ての終了処理およびデータ返却完了後		●					A市民ID削除を要求する (※1)		個人ID削除を要求するため			A市民ID削除要求		※1: トラストサービス(認証)に送信する	
		●					本人確認削除を要求する (※2)					本人確認削除要求		※2: トラストサービス(本人確認)に送信する	
		● →	○ (個)				データ連携基盤利用者を削除し、個人デバイスにSMSで削除完了を通知する			SMS			削除完了通知		
			● (個)				削除完了通知を確認する		プラットフォームの利用終了が完了したことを確認するため	個人ポータル		削除完了通知			

POINT 1

PF利用規約で規定された対象データを削除するフローを記載する。

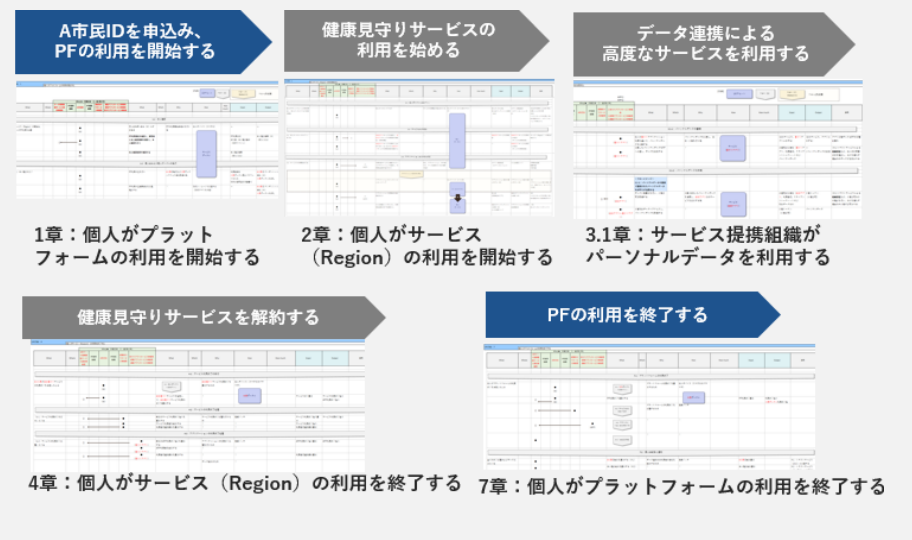
7-2. 個人ID削除と通知

A市民ID削除を要求する (※1)
 本人確認削除を要求する (※2)
 データ連携基盤利用者を削除し、個人デバイスにSMSで削除完了を通知する
 削除完了通知を確認する

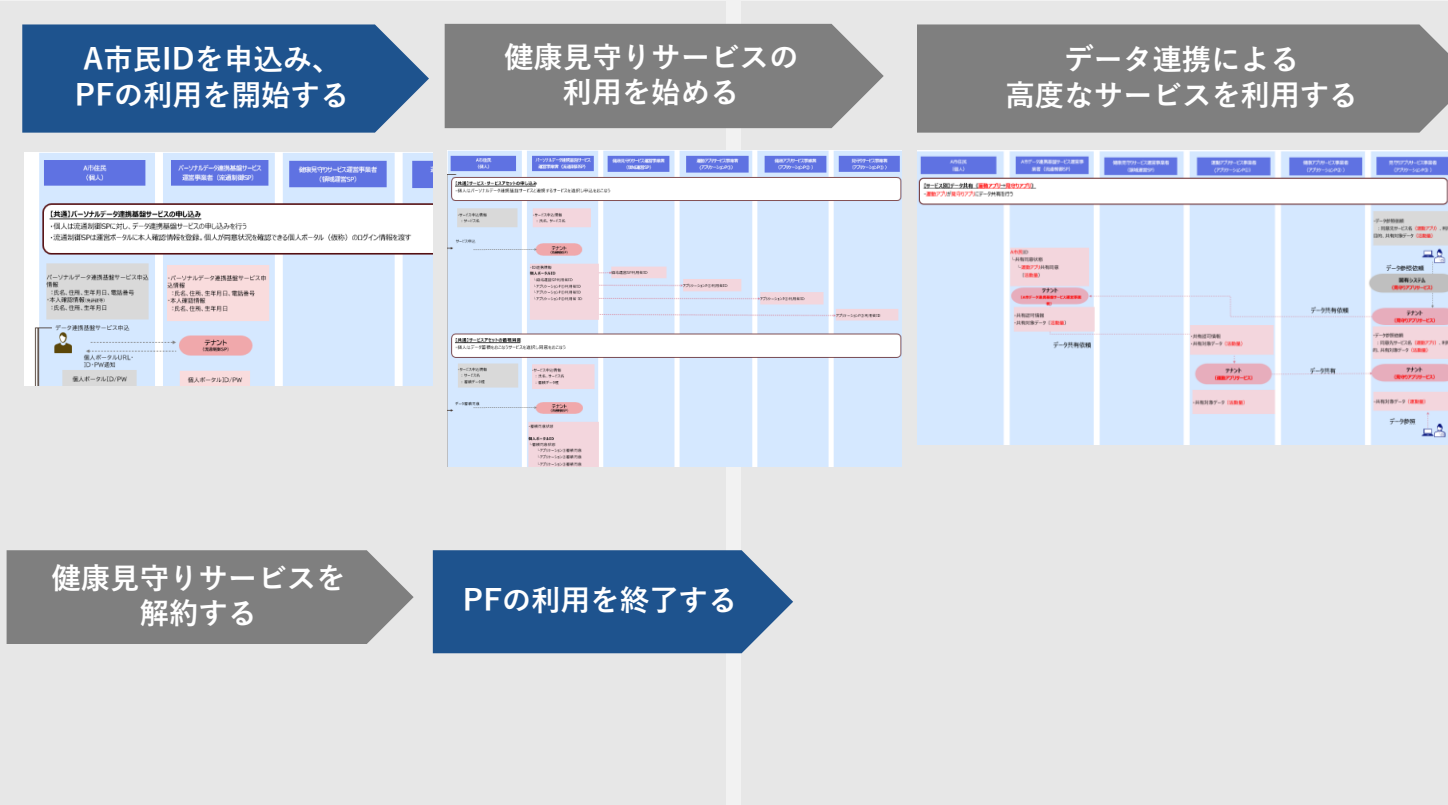
◆ 記載目的

- 流通されるデータセットがどこで蓄積され、どこへ共有されるのかを明確化するため、データリソースマップにデータ管理者ごとに扱うデータを記載する

● 「別紙_UX一覧」記載例



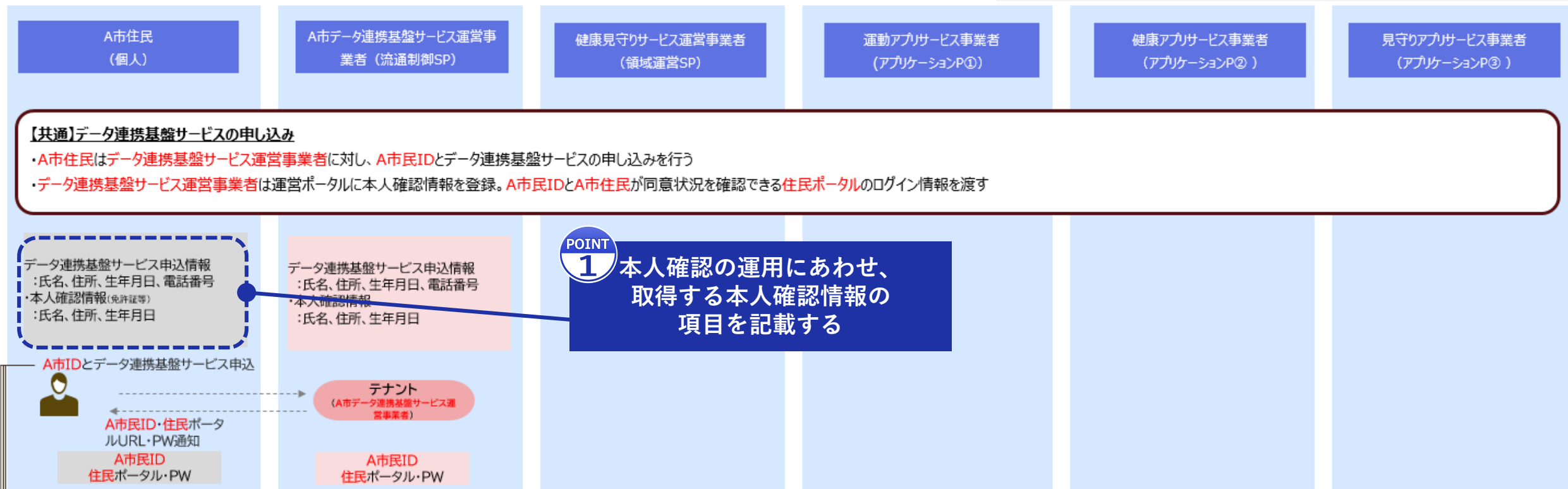
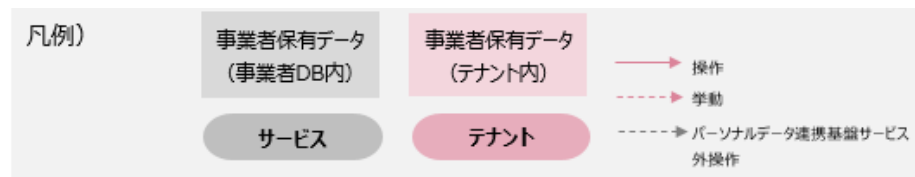
● 「データリソースマップ」記載例



シーン1. 要件定義

④データリソースマップ：データ連携基盤サービスの申し込み

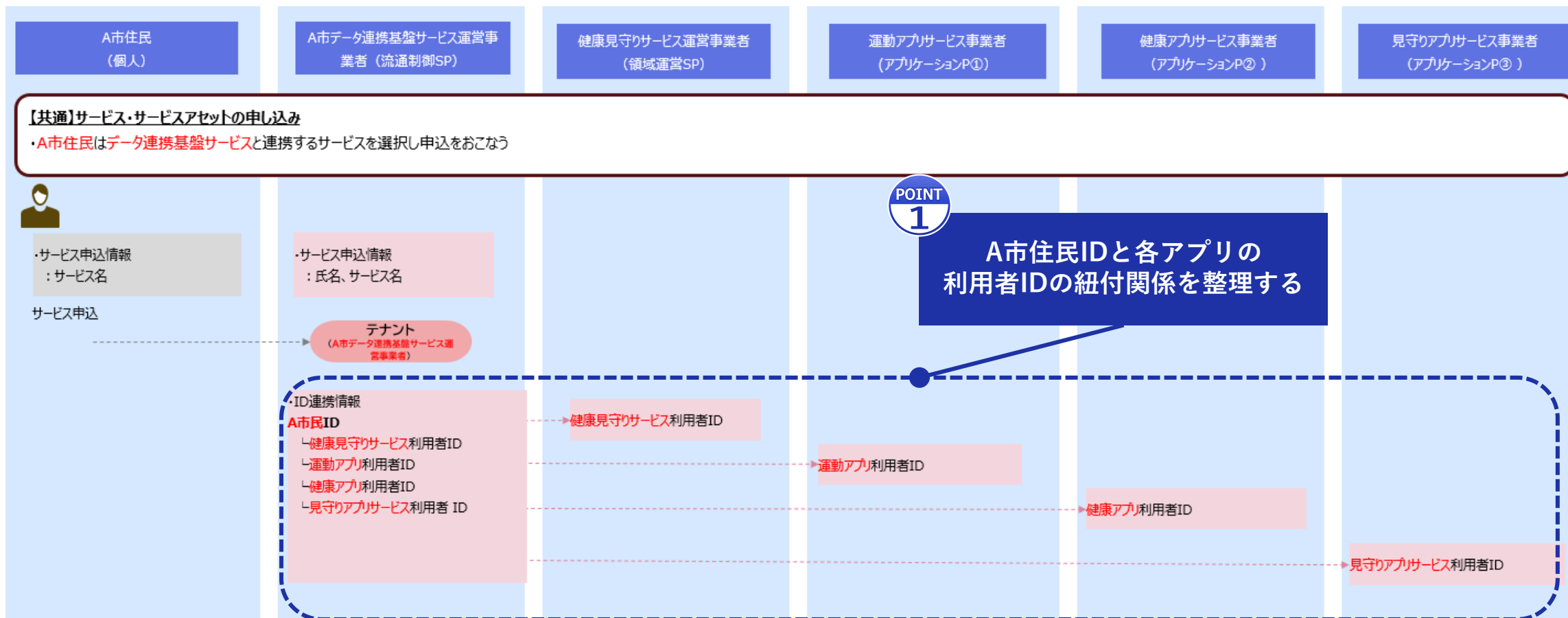
- A市住民はデータ連携基盤サービス運営事業者に対し、A市民IDとデータ連携基盤サービスの申し込みを行う
- データ連携基盤サービス運営事業者（A市）は運営ポータルに本人確認情報を登録。
A市民IDとA市住民が同意状況を確認できる住民ポータルログイン情報を渡す。



シーン1. 要件定義

④データリソースマップ：サービス・サービスアセットの申し込み

- A市住民はデータ連携基盤サービスと連携するサービスを選択し申込をおこなう

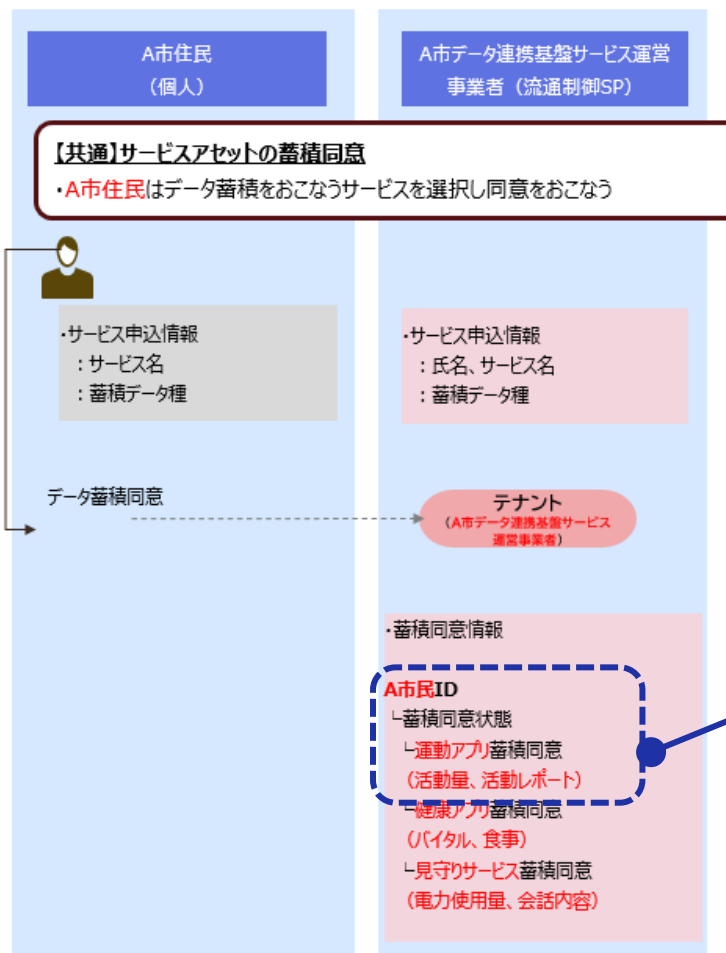


シーン1. 要件定義

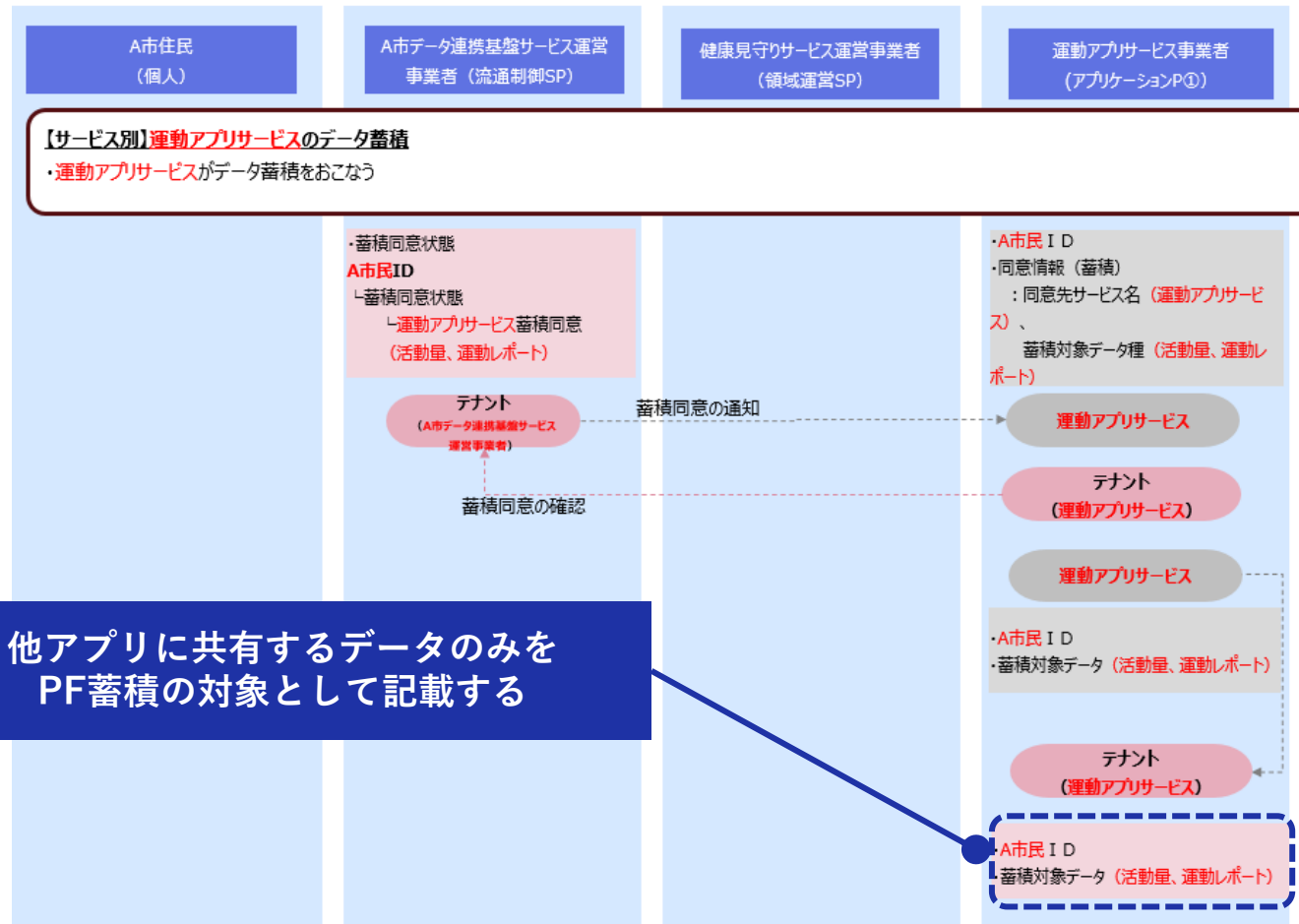
④データリソースマップ：サービスアセットの蓄積同意、アプリサービスのデータ蓄積

- A市住民はデータ蓄積するサービスを選択し同意をおこなう
- 運動アプリサービスがデータ蓄積をおこなう

• 住民が運動アプリのデータ蓄積に同意する



• 住民の同意にもとづき、運動アプリが住民の運動データを蓄積する



POINT 1

他アプリに共有するデータのみをPF蓄積の対象として記載する

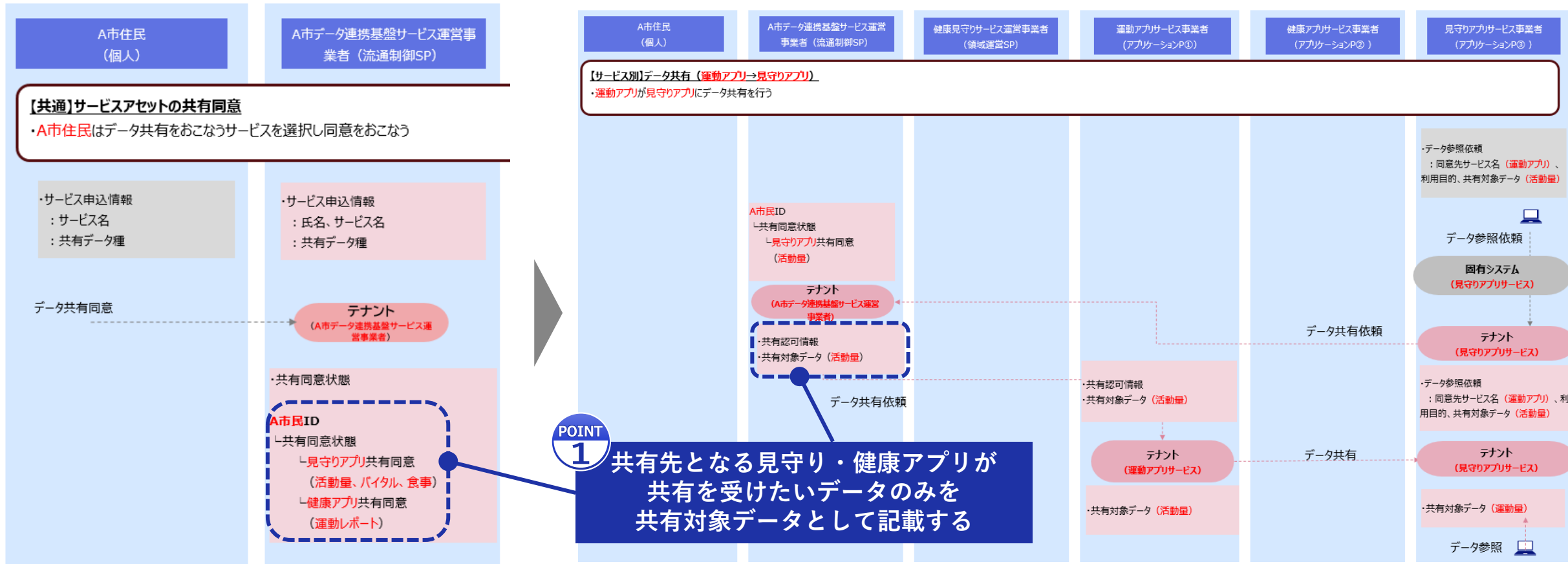
シーン1. 要件定義

④データリソースマップ：サービスアセットの共有同意、データ共有

- A市住民はデータ共有をおこなうサービスを選択し同意をおこなう
- 運動アプリが見守りアプリにデータ共有をおこなう

• 住民が運動アプリのデータ共有に同意する

• 住民の同意にもとづき、運動アプリが見守りアプリに運動データを共有する



シーン1. 要件定義

非機能要件の提示

◆ 非機能要件

- 各非機能要求項目に影響する項目を事前に整理し、構築事業者と要件整合する必要があります。
- 詳細な要求項目については、IPAが定める非機能要求グレードを参考にしてください。



自治体 (A市)

● 事前検討事項目例

ID発行数

接続事業者数

データ量

取り扱いデータの分類

● 事前検討事項目サンプル

・ A市民IDの年間発行目標数

例) FY23 : 1万人
FY24 : 5万人

⋮

・ 接続事業者数の計画 (年度)

例) FY23 : 10事業者
FY24 : 30事業者

⋮

・ 日次取り扱いデータ量
・ 年次取り扱いデータ量計画

例) ○○レコード/日
○○レコード/年

⋮

・ 要配慮個人情報を含まない



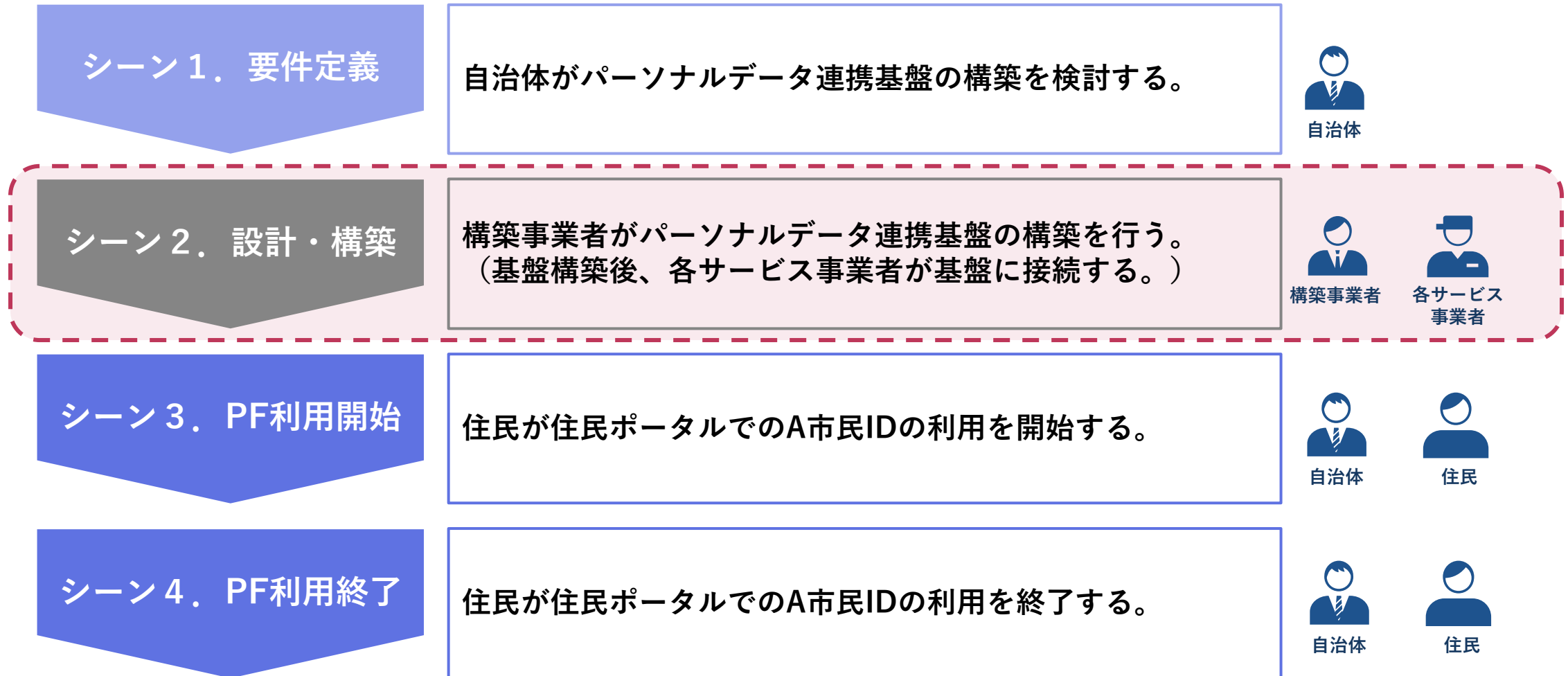
構築事業者

非機能要件
要件定義書

シーン 2. 設計・構築

「シーン2. 設計・項目」について

- ◆ 「シーン2. 設計・項目」は、次回セミナーにてご説明予定です。



公開ドキュメントの追加と変更

- 1/27付けでドキュメントの追加及び変更を加えております。以下をご確認ください。
 - <https://data-society-alliance.org/area-data/module/manual/>

No.	区分	ファイル名	版数	概要
1	ソースコード	パーソナルデータ連携モジュール_ソースコード	v1.0公開中 (2022/11/30版)	OSSソースコード一式
2		パーソナルデータ連携モジュール_サンプルカタログファイル	v1.0新規追加	ソースコード追加分
3	導入ガイドライン	パーソナルデータ連携モジュール_ビルド手順書	v1.0公開中 (2022/11/30版)	動作確認用の評価環境を構築するための手順を記載
4		パーソナルデータ連携モジュール_構築手順書	v1.2暫定版に更新 (2月下旬に正式改版予定)	構築に必要な手順を記載
5		初期カタログ投入手順補助資料	v1.0新規追加 (2月下旬に正式改版予定)	構築に必要な手順書
6		機能要件テンプレート_本紙	v1.0公開中 (2月下旬に改版予定)	構築を進める前に整合すべきアクター・データフローに関する整理フォーマット例を記載
7		機能要件テンプレート_別紙		
8		機能要件テンプレート_カタログ定義書	今後公開 (2月下旬予定)	カタログの定義について記載
9	利用ガイドライン	パーソナルデータ連携モジュール_説明資料	v2.0公開中 (2022/12/26版)	パーソナルデータ連携モジュールのコンセプト、アーキテクチャ、機能等に関する概要説明を記載
10		パーソナルデータ連携モジュール_セミナー資料（自治体向け）	v1.0新規追加	自治体様担当のフェーズについて記載
11		パーソナルデータ連携モジュール_公開APIリスト	v1.0公開中 (2022/11/30版)	API一覧を記載
12		パーソナルデータ連携モジュール_利用設定手順書	v1.0公開中 (2022/11/30版)	システム設定に必要な情報を記載
13		パーソナルデータ連携モジュール_アプリケーション開発ガイド	v1.0公開中 (2022/11/30版)	アプリケーションを個別開発する際の手順を記載
14	その他	パーソナルデータ連携モジュール_正誤表	v1.0新規追加	ドキュメント、資材に関する正誤を記載

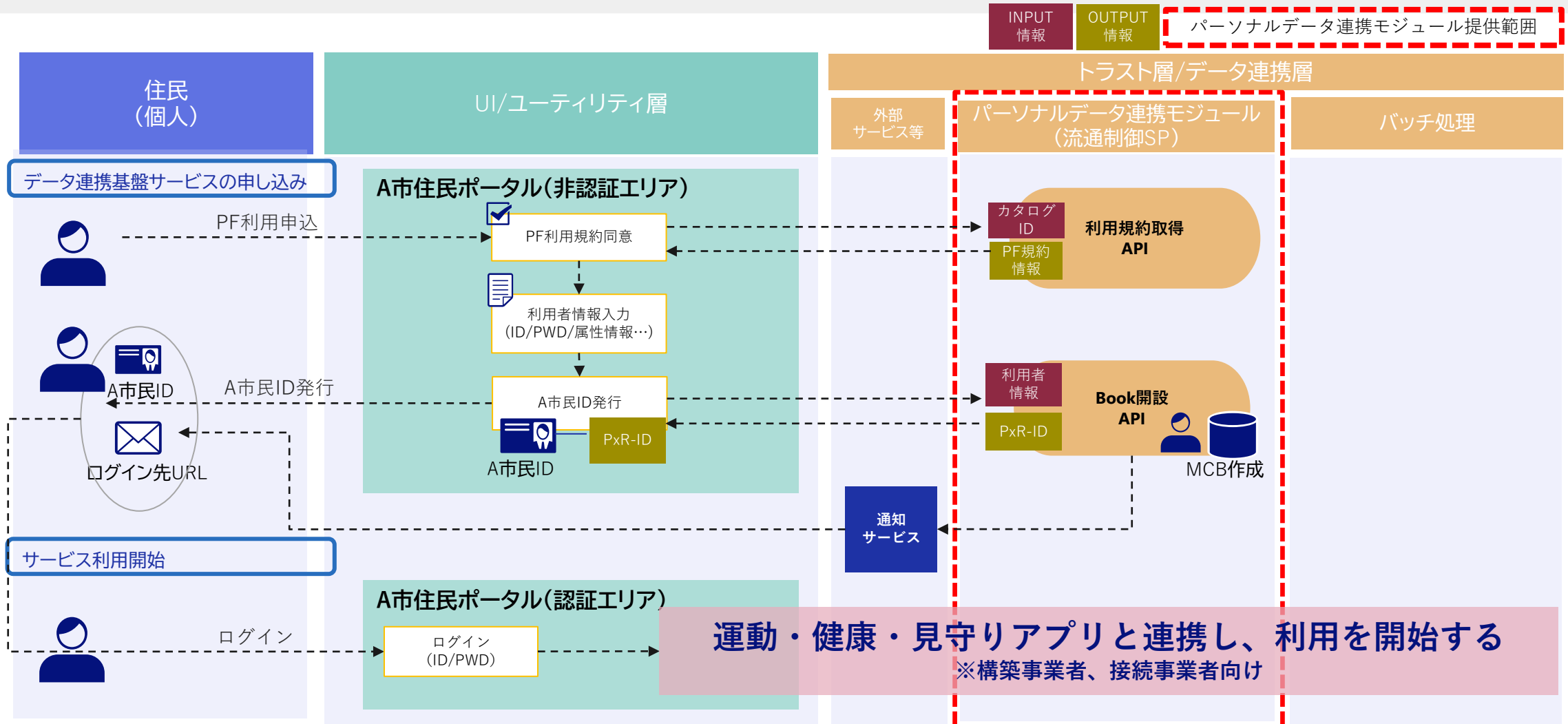
シーン 3. PF利用開始

- ・本資料は利用イメージをご理解いただくを目的としており、実際のAPI仕様は公開している
パーソナルデータ連携モジュールソースコードに含まれる「openapi.json」をご参照ください。
- ・本事例に対応したAPI利用手順は次回の構築事業者向けセミナーにてご説明させていただく予定です。

シーン3. PF利用開始

住民が「A市民ID」の利用開始手続きを行う際のフロー

- 住民が「住民ポータル」にてPF利用規約同意の上、利用申込を行い「A市民ID」を取得する



シーン3. PF利用開始

住民が「N市民ID」の利用開始手続きを行う際のAPI概説：利用規約取得API

- 利用申込時に住民が参照する利用規約情報を取得する

※1:オペレータについては後述補足資料参照

APIカテゴリ	No	API名称	処理概要	INPUT情報	OUTPUT情報	補足事項
利用規約取得API	1	ログインAPI	後続のAPIを利用する為、流通制御SPオペレータのログインを行う。	オペレータ ログイン 情報	セッション情報	<ul style="list-style-type: none"> オペレータログイン情報(※1)：事前登録した運営メンバー情報
	2	カタログ取得API (PF概要取得)	住民ポータルにて住民にPF概要を参照させる為、PF概要情報を取得する。	セッション情報 概要ID	PF概要情報	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する 概要ID：事前登録時に発行されたカタログIDを指定
	3	カタログ取得API (PF利用規約取得)	住民ポータルにて住民にPF利用規約等の内容を参照させる為、PF利用規約情報を取得する。	セッション情報 利用規約ID	PF規約情報	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する 利用規約ID：事前登録時に発行されたカタログIDを指定

シーン3. PF利用開始

住民が「N市民ID」の利用開始手続きを行う際のAPI概説：Book開設API

- 住民が入力した本人情報を元に利用者の登録（Book開設）を行う。

※1:オペレータについては後述補足資料参照

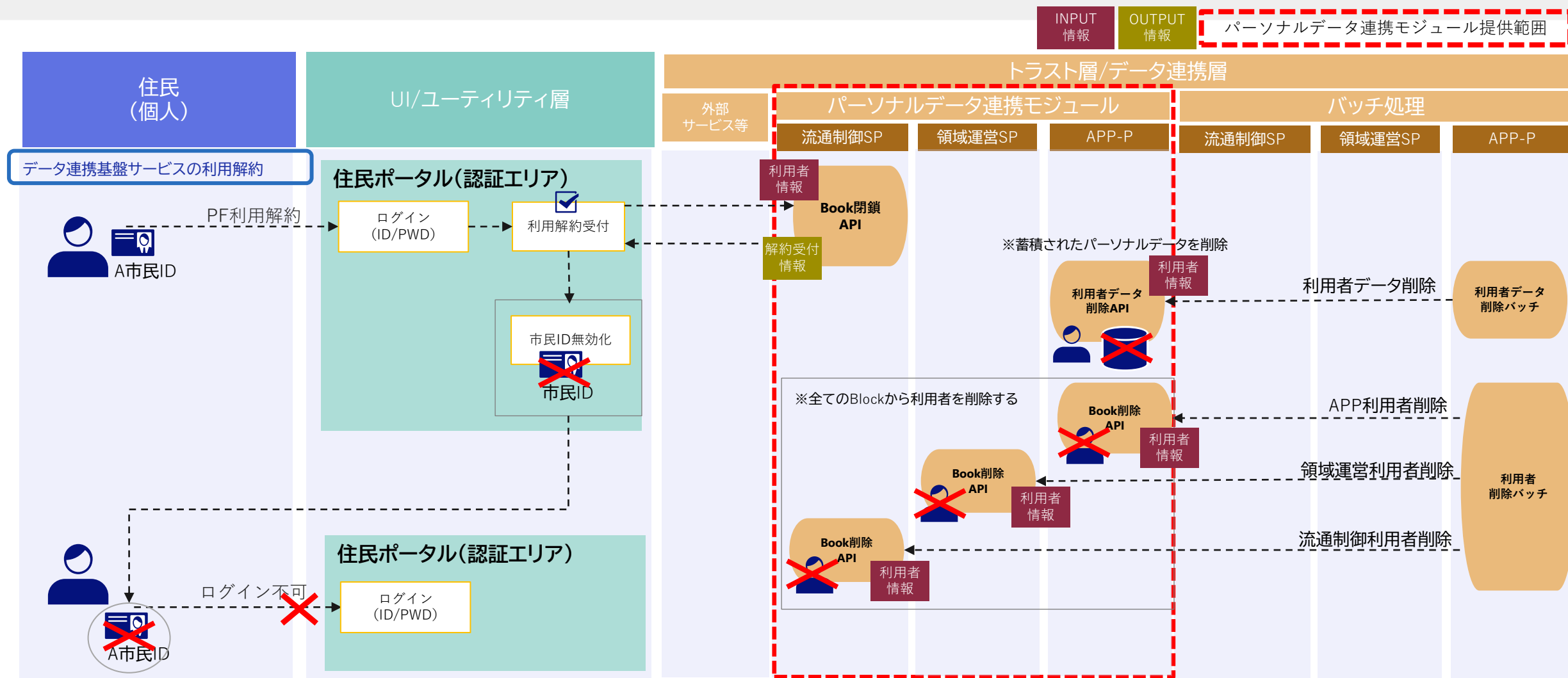
APIカテゴリ	No	API名称	処理概要	INPUT情報	OUTPUT情報	補足事項
Book開設API	1	ログインAPI	後続のAPIを利用する為、流通制御SPオペレータのログインを行う。	オペレータ ログイン 情報	セッション情報	<ul style="list-style-type: none"> オペレータログイン情報(※1)：事前登録した運営メンバー情報
	2	カタログ取得API (本人性確認情報)	Book開設に必要な情報(本人性確認情報 テンプレート)を取得する。	セッション情報 本人性確認情報 テンプレートID	本人性確認情報 テンプレート情報	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する 本人性確認情報テンプレートID：事前登録時に発行されたカタログIDを指定する ※本データ連携基盤サービスで定めた本人性確認情報の定義
	3	カタログ取得API (利用者属性情報)	Book開設に必要な情報(利用者属性情報 テンプレート)を取得する	セッション情報 利用者属性情報 テンプレートID	利用者属性情報 テンプレート情報	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する 利用者属性情報テンプレートID：事前登録時に発行されたカタログIDを指定する ※本データ連携基盤サービスで定めた個人属性情報の定義
	4	カタログ取得API (PF利用規約)	Book開設に必要なPF利用規約情報(規約Ver)を取得する。	セッション情報 利用規約ID	PF規約情報	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する 利用規約ID：事前登録時に発行されたカタログIDを指定する
	5	Book開設API	個人のBook開設を実施する。	セッション情報 本人性確認情報 テンプレート情報 利用者属性情報 テンプレート情報 PF規約情報 利用者情報(IN)	利用者情報 (OUT)	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する 本人性確認情報テンプレート情報：No.2で取得した情報を利用する 利用者属性情報テンプレート情報：No.3で取得した情報を利用する PF規約情報：No.4で取得した情報を利用する 利用者情報 (IN)：ユーザーが入力した情報 ※テンプレートに対して住民が入力した情報を設定し、開設APIを起動する 利用者情報 (OUT)：利用者の登録結果(PxR-ID等)

シーン4. PF利用終了

- ・本資料は利用イメージをご理解いただくを目的としており、実際のAPI仕様は公開している
パーソナルデータ連携モジュールソースコードに含まれる「openapi.json」をご参照ください。
- ・本事例に対応したAPI利用手順は次回の構築事業者向けセミナーにてご説明させていただく予定です。

住民が「A市民ID」の利用解約手続きを行う際のフロー

- 住民が「A市民ID」の利用解約手続きを行う



住民が「A市民ID」の利用解約手続きを行う際利用API概説：Book閉鎖API

- 住民からの利用解約申請を受領（受付）し、利用者情報及びパーソナルデータの削除を開始する

※1:オペレータについては後述補足資料参照

APIカテゴリ	No	API名称	処理概要	INPUT情報	OUTPUT情報	補足事項
Book閉鎖API	1	ログインAPI	後続のAPIを利用する為、個人のログインを行う。	解約対象 利用者情報	セッション情報	<ul style="list-style-type: none"> オペレータログイン情報(※1)：利用解約対象の個人
	2	データ出力準備API	解約対象となる住民に対してBook閉鎖(利用者情報、データ削除)処理を開始するトリガを生成する	セッション情報 利用者情報	解約受付コード	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する。 解約受付コード：解約受付情報として発行する識別子。 ※後続の処理で利用する

住民が「A市民ID」の利用解約手続きを行う際の利用API概説：利用者データ削除API（1/2）

- PF内に存在している利用解約対象者のパーソナルデータを削除する(1/2)

※1:オペレータについては後述補足資料参照

APIカテゴリ	No	API名称	処理概要	INPUT情報	OUTPUT情報	補足事項
利用者 データ削除 API	1	ログインAPI	後続のAPIを利用する為、処理対象Blockへのログインを行う。	オペレータ ログイン 情報	セッション情報	<ul style="list-style-type: none"> オペレータログイン情報(※1)：事前登録した運営メンバー情報
	2	出力データ管理取得API	データ削除対象となる利用者を取得する。	セッション情報 データ 削除対象条件	データ 削除対象者一覧	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する データ削除対象条件：データ連携モジュール仕様に従った解約受付済の解約対象利用者を取得する条件を指定する
	3	出力データ管理更新API	対象者の削除処理ステータスを更新する(削除処理中)	セッション情報 データ 削除対象者一覧	処理結果	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する データ削除対象者一覧：No.2で取得した利用者データ削除対象の情報を指定する
	4	My-Condition-Book一覧取得API	データ削除対象者のMCB情報を取得する。	セッション情報 データ 削除対象者一覧	利用者Book情報	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する データ削除対象者一覧：No.2で取得したデータ削除対象の情報を指定する

2/2へ続く

住民が「A市民ID」の利用解約手続きを行う際の利用API概説：利用者データ削除API（2/2）

- PF内に存在している利用解約対象者のパーソナルデータを削除する(2/2)

1/2で取得した情報を継続利用

APIカテゴリ	No	API名称	処理概要	INPUT情報	OUTPUT情報	補足事項
<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 利用者 データ削除 API </div>	5	利用者データ削除API	解約対象者が保持しているパーソナルデータを削除する	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">セッション情報</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">利用者Book情報(利用者ID)</div>	<div style="background-color: #92d050; padding: 5px; border: 1px solid black;">処理結果</div>	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する。 利用者Book情報：No.4で取得した利用者Book情報から利用者IDを特定し、利用者データ削除を実施する
	6	出力データ管理更新API	対象者の削除処理ステータスを更新する(削除完了)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">セッション情報</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">データ削除対象者一覧</div>	<div style="background-color: #92d050; padding: 5px; border: 1px solid black;">処理結果</div>	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する。 データ削除対象者一覧：No.2で取得した利用者データ削除対象の情報を指定する

住民が「A市民ID」の利用解約手続きを行う際の利用API概説：Book削除API（1/2）

- 利用解約対象者の利用者情報（個人属性を含むMCB情報）を削除する（1/2）

※1:オペレータについては後述補足資料参照

APIカテゴリ	No	API名称	処理概要	INPUT情報	OUTPUT情報	補足事項
Book削除API	1	ログインAPI	後続のAPIを利用する為、処理対象Blockへのログインを行う	オペレータログイン情報	セッション情報	<ul style="list-style-type: none"> オペレータログイン情報(※1)：事前登録した運営メンバー情報 ※処理対象となるBlock単位でログインを実施する (流通制御SP、領域運営SP、APP-P)
	2	カタログ取得API (Block情報取得)	Book削除の為、対象となるBlock情報取得する	セッション情報 PF基本設定情報 (Block識別子)	Block情報	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する。 PFの基本設定情報：処理対象Blockの識別子を含む設定情報 ※API起動元(バッチ処理)の処理対象判断に利用する
	3	削除可能Book取得API	削除可能なステータスになっているMCBの一覧を取得する	セッション情報	削除可能Book一覧	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する。 削除可能Book一覧：前述の手続きが完了し、削除可能となっているMCB情報 ※PF内の整合性維持の為に、削除可能なステータスとなっている情報のみが抽出される
	4	My-Condition-Book一覧取得API	Book削除対象者のBook情報を取得する	セッション情報 削除可能Book一覧	Book情報	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する 削除可能Book情報：No.3で取得した削除可能Book情報一覧から該当Bookの利用者IDを利用し、Book情報を取得する

2/2へ続く

住民が「A市民ID」の利用解約手続きを行う際の利用API概説：Book削除API（2/2）

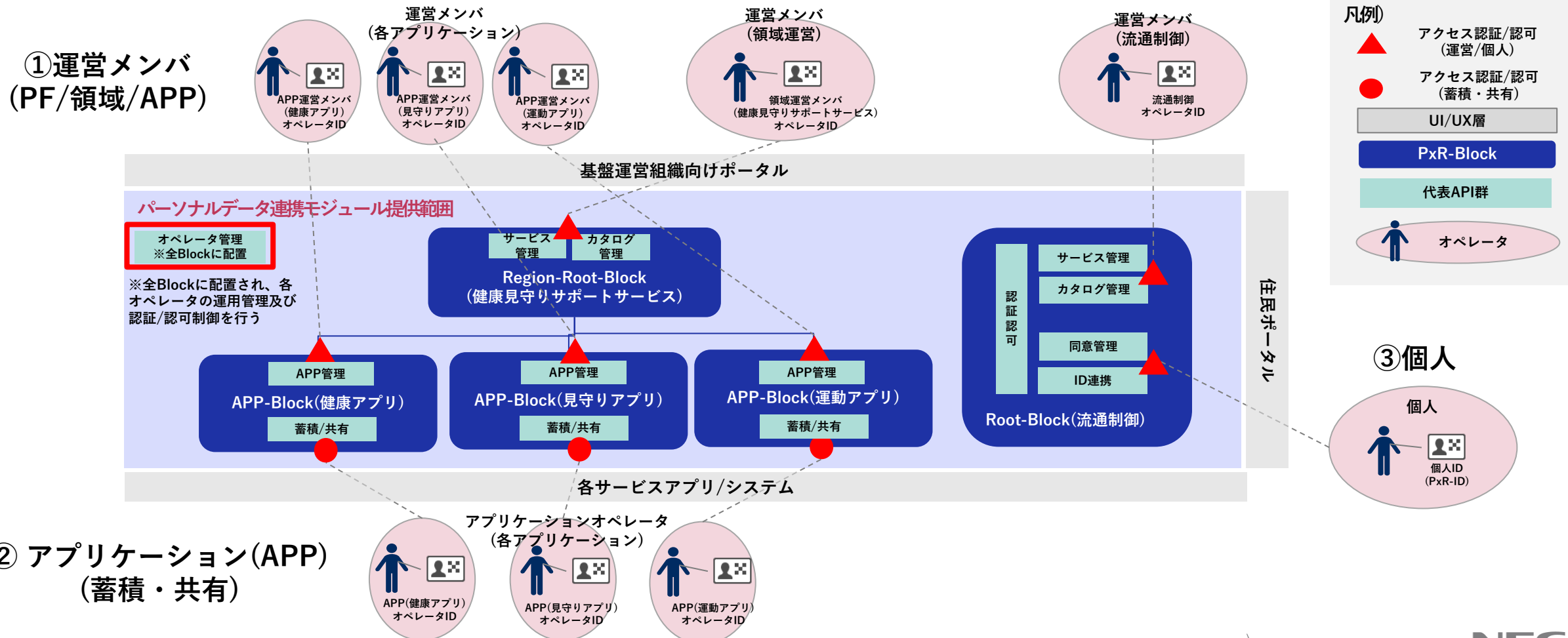
- 利用解約対象者の利用者情報（個人属性を含むMCB情報）を削除する（2/2）

1/2で取得した情報を継続利用

APIカテゴリ	No	API名称	処理概要	INPUT情報	OUTPUT情報	補足事項
Book削除API	※対象のRegion/APP毎に実行する					
	7	利用者削除API	MCB削除の為、Region/APPから利用者情報を削除する	セッション情報 確認済本人性確認コード	処理結果	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する。 削除対象者本人性確認コード：処理内で発行される、削除対象者の本人性確認コード指定する
	8	強制削除API	システム上の最終処理としてRoot-BlockからMCBを削除する	セッション情報 削除可能Book一覧	処理結果	<ul style="list-style-type: none"> セッション情報：No.1で発行されたトークンを付与する。 削除可能Book情報：No.3から取得した削除可能Book情報一覧から該当Bookの利用者IDを利用し、Bookを削除する。

(補足) パーソナルデータ連携モジュールにおけるオペレータ

- オペレータは「①運営メンバ」「②アプリケーション(APP)」「③個人」の3種が存在する
- APIを利用する際は、利用対象APIに応じたオペレータでPxRにログインすることが前提となる
- 基盤構築時点で初期オペレータを作成、提供することで以降は各Block単位でオペレータの運用管理を行う想定



質疑応答

- パーソナルデータ連携モジュールに関する今後のセミナー
 - 追加セミナーの開催（Zoom）を予定しております。
 - 詳細は、別途メール・ホームページにてご案内いたします。
 - ① 構築事業者様向けセミナー : 調整中（2月末頃を予定）
 - ② 接続事業者様向けセミナー : 企画中

- その他お問合せ

個別のお問合せ・ご確認事項等ございましたら、下記DSA問い合わせ窓口までご連絡ください。

一般社団法人データ社会推進協議会 エリア・データ連携基盤事務局

support-area-data@data-society-alliance.org